

令和4年6月8日 開会

令和4年 第2回 東松島市議会定例会

議員一般質問通告書

東松島市議会

《 議員一般質問 目次 》

順位	氏名	件名	頁
第1位	五野井 敏夫	1 新たな津波浸水想定区域の公表に伴う本市の対応はいかに	3
		2 脱炭素先行地域に選定されたその取組について	4
第2位	石森 晃寿	1 新型コロナウイルス対策について	5
		2 中下地区の過疎対策について	6
第3位	千葉 修一	1 災害時の避難所、避難路及び施設の安全対策について伺う	7
第4位	齋藤 徹	1 障がい者スポーツの更なる理解と支援の拡充を	8
第5位	熊谷 昌崇	1 ご当地ナンバーについて	9
		2 市道における違法駐車に対応について	10
第6位	滝 健一	1 子どもの成長と地域社会の役割について	11
第7位	土井 光正	1 環境省による脱炭素先行地域選定による本市の取組を問う	12
		2 帯状疱疹ワクチン接種に助成制度の導入を	13
		3 物価高騰による学校給食費の負担を軽減せよ	14
第8位	井出 方明	1 地域活性化のため観光推進について問う	15
		2 防災関連施策について問う	16
第9位	浅野 直美	1 定住自立圏構想再開による人口減少対策等持続可能な市政運営への可能性について伺う	17
		2 環境整備と災害対策について	18
		3 本市の地域力を活かした誰一人取り残さない教育について	19

順位	氏名	件名	頁
第10位	阿部 秀太	1 森林資源の管理とその活用について問う	20
		2 スマート農業への取組方針について問う	21
		3 ブルーインパルス観覧駐車場の整備について	22
第11位	手代木 せつ子	1 市内にあるため池の安全を確認せよ	23
		2 制服や学用品のリユース事業を立ち上げよ	24
第12位	櫻井 政文	1 18歳成人への対応を問う	25
		2 STEAM（スティーム）教育について	26
第13位	長谷川 博	1 ため池の安全対策について	27
		2 国保 子どもの均等割軽減について	28
第14位	大橋 博之	1 学力向上について問う	29
第15位	小野 恵章	1 県公表の新たな津波浸水想定への本市対応は	30
		2 飼い犬・飼い猫条例の制定を求める	31

【質問者数 15人・質問件数 29件】

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>1. 新たな津波浸水想定区域の公表に伴う本市の対応はいかに</p>	<p>宮城県は、5月10日に東日本大震災などの数百年に1度とされる三陸沖を震源とする震災級の巨大地震、日本海溝と千島海溝を震源とする巨大地震も考慮し、また、地盤沈下で満潮時、あげくに防潮堤の破壊などの悪条件が重なった場合のシミュレーション結果を発表した。</p> <p>本市においては、市全体面積の約5割にあたる49.2km²が浸水、東日本大震災時の1.3倍の浸水と想定されており、市庁舎も津波浸水想定区域に含まれている。</p> <p>以上を踏まえ、以下の点について伺う。</p> <p>(1) この時期の新たな津波浸水想定区域の公表について、市長の受け止めはいかに。</p> <p>(2) 既存の指定避難所では対応しきれない。対策はいかに。</p> <p>(3) 津波発生時の避難は、原則徒歩としているが現実には車両での移動が多いようだ。避難道の確保をいかにするか。</p> <p>(4) 津波浸水想定区域に位置する市役所で、災害対応の指揮伝達系統は円滑にできるのか。対策はいかに。</p> <p>(5) 市民に対する説明は、いつどうするのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>2. 脱炭素先行地域に選定されたその取組について</p>	<p>政府が目標の2050年に先駆け、30年度までに、脱炭素化を進める環境省の先行地域に、県内で唯一、本市が選ばれた。この事業の狙いは、脱炭素社会の実現に向けて再生可能エネルギー普及などの先進モデルをつくり全国に広げることを目途としている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 事業推進のための財源はいかに。</p> <p>(2) 事業推進年度は、いつからか。</p> <p>(3) 発電された電力は、どのように利用され、その収支はいかにされるのか。</p> <p>(4) 事業主体は、どこになるのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>1. 新型コロナウイルス対策について</p>	<p>本市の新型コロナウイルスの感染者数は、令和4年5月15日現在1,077人である。特に、今年1月から5月15日までは、886人感染している。1日当たり6.5人感染しており、いつになったら終息するかわからない状況である。本市も、国や県の対応を踏まえ、対策を講じなければならない。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 新型コロナワクチン接種のこれまでの実績及び年代別の新型コロナウイルス感染者数は、どのようになっているか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の予防及び重症化防止には、新型コロナワクチンの接種が有効な手段と考えるが、市長は、どのように考えているか。また、未接種者に対する新型コロナワクチン接種の促進策は、どのように考えているか。</p> <p>(3) 新型コロナワクチン接種4回目は、いつ頃から始まり、いつ頃終了するのか。</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染症の陽性者の入院、ホテル療養、自宅療養の内訳は、どのようになっているか。</p> <p>(5) 新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として自宅待機となり、生活に支障をきたしている世帯への生活用品と食料品等の配布件数は、どのようになっているか。</p> <p>(6) 新型コロナウイルス感染症の影響で小中学校の学級閉鎖等が相次いでいる。この間、タブレットを活用したオンライン学習は、どのように行ったのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>石森晃寿</p>	<p>2. 中下地区の過疎対策について</p>	<p>中下地区は、世帯数49世帯、人口158人の典型的な過疎地域である。東日本大震災後、世帯数、人口がともに2割ほど減少し、高齢化が顕著である。</p> <p>この地区に、地区内の土地所有者の協力で鳴瀬未来中学校が建設された。しかし、地区内から鳴瀬未来中学校に通学する生徒は、数人である。それにも関わらず、鳴瀬未来中学校の生徒の登下校時の見守り活動、生涯学習活動等が熱心な地区である。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 中下地区は、公共下水道の認可区域だが、下水道の整備が完了していない。いつ整備が始まるのか。</p> <p>(2) 地区内の市道山岸線、上野蒜2号線、上野蒜・大塚線は、救急車、消防自動車等が交互通行できない狭隘な市道のため目的地に到着するまで通常より時間を要する。過疎債により改良整備が必要と思われる。いつ整備が始まるのか。</p> <p>(3) この地区は、あらゆる分野のリーダーが頑張っている。ゆえに、児童生徒は少ないが、成績優秀な子どもたちがいる。市内に雇用先がなければ遠方に就職する可能性がある。雇用なくして人口減少の歯止めはきかない。早期に対応策を講じるべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第3位</p> <p>千葉 修一</p>	<p>1. 災害時の避難所、避難路及び施設の安全対策について伺う。</p>	<p>東日本大震災から11年が過ぎ、今年3月16日には福島県沖を震源とする最大震度6強の地震が発生し、東松島市でも震度6弱の揺れがあった。市全域で被害が発生し、災害時の対応について、再確認が必要と考える。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 3月16日23時36分頃に発生した福島県沖を震源とする地震により津波注意報が発表され、各地域の避難所に避難された方が多数いた。避難者からは、避難所の入口が分からない、部屋が寒かった、誰が市職員なのか学校の教員なのか分からないなどという声があった。これらの今後の改善策について伺う。</p> <p>(2) 津波注意報発表後、県道矢本河南線、県道石巻港インター線、市道川前線など北に向かう道路が軒並渋滞した。市道川前線では、津波注意報が発表され、10分程度で混み始め、30分以上かかり渋滞が解消した。この路線は、津波警報等が発表されると毎回渋滞が起きる。津波発生時は、原則徒歩避難としているが、車両で避難する方が多い。今後の対応策について伺う。</p> <p>(3) ブロック塀の倒壊の恐れがある箇所や傾いている電柱について、市民から、恐怖を感じるとの声を聞く。3月の地震では、防犯灯が倒れた箇所もあった。これらの施設の安全確認、安全対策について伺う。</p> <p>(4) 近年、国内ではゲリラ豪雨が発生し、各地で水害が発生している。本市でも、大雨に備え、各水路の安全確認、定川及び中江川の浚渫等の対策が必要と考えるがいかん。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>1. 障がい者スポーツの更なる理解と支援の拡充を</p>	<p>本市では、平成30年6月15日にSDGs未来都市に選定され、令和2年3月20日に東京2020オリンピックの聖火が日本で最初に到着したことに合わせ、「スポーツ健康都市」を宣言し、その理念に基づいて様々な施策を実施してきた。加えて、今年のゴールデンウィークにはデフフットサル男子日本代表候補合宿が奥松島運動公園で行われており、関係者から本市の施設、環境面を高く評価している旨を伝えられた。</p> <p>本市の掲げる理念と障がい者のスポーツの親和性の高さ、本市交流人口の拡大のために、市内外へ向けたより積極的なアプローチをすべきと考え、以下の点について問う。</p> <p>(1) 日本ろう者サッカー協会（JDFA）の強化合宿の開催場所として定着しつつある現状から、本市とJDFA間で協定の締結をすべきと考えるがいかんか。</p> <p>(2) SDGsの理念とスポーツ健康都市の理念に基づき、健常者だけではなく、障害者スポーツにも自治体として、大会や合宿誘致へ向けた積極的な取組をするべきと考えるがいかんか。</p> <p>(3) 教育分野においても、他者を理解し、考えを共有する心の成長を促す貴重な体験を得ることができると思慮される。地域住民だけではなく、児童生徒も対象にした交流の実施の考えはあるか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第5位</p> <p>熊谷 昌崇</p>	<p>1. ご当地ナンバーについて</p>	<p>先日、市民から原付ご当地ナンバーについて問い合わせを受けた。宮城県内の他市町村でも導入が進められており、仙台市、大崎市、気仙沼市、松島町、塩釜市等多数の市町村が独自のデザインのナンバープレートを作成し、郷土愛あふれるデザインで地域振興の一助になっている。</p> <p>本市としても、全国的に人気のあるブルーインパルスや嵯峨溪等の景勝地のデザイン等を取り入れて作成し、地域PRの一助となるように検討すべきではないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第5位</p> <p>熊谷昌崇</p>	<p>2. 市道における違法駐車への対応について</p>	<p>昨年、市民から旧市道とその市民の土地にまたがり数か月も違法駐車があり、自分の敷地の草を刈るにも、迷惑であるため、対応してほしいと連絡があった。昨年、建設課に問い合わせ、建設課から警察に問い合わせいただいたが、一向に改善されない。市道の管理責任の対応についてを問う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要 旨
<p>第6位</p> <p>滝 健 一</p>	<p>1. 子どもの成長と地域社会の役割について</p>	<p>近頃、子どもたちの地域社会での交流が希薄化、多様化していると益々感じられるようになり、子育てに関する社会的環境は様変わりしている。</p> <p>地域全体での創意工夫を凝らす必要性が高まっている観点から子どもたちの健やかな成長のため、次の件を伺う。</p> <p>(1) 子どもたちの社会性を成長発展させるための育成をどのように進めるか。</p> <p>(2) 地域社会を網羅した子育てのあり方について伺う。</p> <p>(3) コロナ禍における子育ての孤立化が憂慮されている。地域での援助のあり方について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第7位</p> <p>土井 光正</p>	<p>1. 環境省による脱炭素先行地域選定による本市の取組を問う</p>	<p>本市は、このほど環境省から第1回脱炭素先行地域に選定にされた。200億円のビッグプロジェクトと言われ、我が国の2030年度目標と整合する削減を民生部門の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロを実現するとともに、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減について実現する地域と認定されたものである。</p> <p>この取組について、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 令和4年度の具体的な取組内容について</p> <p>(2) 2012年に導入された「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」により、本市でも各家庭におけるソーラーパネルの設置が普及した。しかし、昨年度から、10年目を迎えた設置家庭での買取単価の低減によりメリットが無くなっているため、今後の普及に懸念がある。市独自の新たな蓄電池購入の助成により、さらなる普及を推進すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(3) 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車等の導入に対する補助を国の支援とは別に市独自の補助支援を行うべきと考えるがいかがか。</p> <p>(4) 海のオアシスとも言える海草群生地での海草の働きにより貯蔵されている炭素、いわゆるブルーカーボンの重要性が高まっているが、地球環境の変化により年間7%の割合で減少しつつあるとも言われている。ブルーカーボン生態系の保全の取組について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第7位</p> <p>土井 光正</p>	<p>2. 带状疱疹ワクチン接種に助成制度の導入を</p>	<p>带状疱疹ワクチン接種については、テレビのCMやドキュメント番組等の報道等により、少しずつ「带状疱疹はワクチン接種で予防することができる」という認知度が高まり、市民相談も増えている。带状疱疹の原因となるウイルスは、日本人成人の90%以上の方の体内に潜んでいて、50歳を境に発症率は急激に上昇し、60歳代から80歳代でピークを迎え、80歳までに約3人に1人が带状疱疹になると言われている。社会保障改革の中で2013年に成立した「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律」では、健康に関して「健康の維持増進、疾病の予防及び早期発見等を積極的に促進すること」とうたわれている。</p> <p>そこで、病になってから治療するのではなく、病を未然に防ぐという観点から、次の点について伺う。</p> <p>(1) 带状疱疹ワクチンの効果をどのように考えるのか。</p> <p>(2) 带状疱疹ワクチンの周知と接種の推進はなされているか。</p> <p>(3) 市民の健康を守るという観点から、带状疱疹ワクチン接種の助成をすべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第7位</p> <p>土井 光正</p>	<p>3. 物価高騰による学校給食費の負担を軽減せよ</p>	<p>ウクライナ情勢や円安等による物価高騰等の影響として学校給食費の値上げが懸念される。現在、学校給食法に基づき小学校275円/食、中学校335円/食の食材費負担となっているが、令和2年度から令和4年度までは、据え置きとしている。最近の物価上昇による食材等も高騰する中、栄養士等による副食費の調整は限界に来ている。未来ある児童生徒の健康維持・増進のために公費負担の補填増額で食材費負担額を来年度以降も据え置くべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第8位</p> <p>井出方明</p>	<p>1. 地域活性化のため観光推進について問う</p>	<p>コロナ禍で衰退した経済活動を活性化するため観光を中心とした施策を進めていく必要があると考え、次の点について問う。</p> <p>(1) 12年ぶりに野蒜海水浴場がオープンするがPR、イベント及び海水浴場までの交通手段について問う。</p> <p>(2) 日本三大溪の一つである嵯峨溪の集客状況及び集客策について問う。</p> <p>(3) 「令和の果樹の花里づくり」の現在の進捗及び今後のスケジュールについて問う。</p> <p>(4) 道の駅の開業に向けて地場特産品（牡蠣、海苔、農作物等）をブランド化して、目玉商品として通年販売すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(5) 対外的PRは必要であるが、市民に対して我が市の魅力を再認識させ、来訪者に自慢できる啓発活動が必要と考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第8位</p> <p>井 出 方 明</p>	<p>2. 防災関連施策について問う</p>	<p>令和4年3月16日に発生した地震及び津波注意報の発表に関して、次の点について問う。</p> <p>(1) 津波注意報発表後、市内数か所で渋滞が発生した。津波被害から市民を守るためにも特に南北の交通を優先させる流れを作ることが必要と考えるが見解を問う。</p> <p>(2) 野蒜海水浴場の避難棟の管理及び運用方法について問う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第9位</p> <p>浅野直美</p>	<p>1. 定住自立圏構想再開による人口減少対策等持続可能な市政運営への可能性について伺う</p>	<p>石巻圏域定住自立圏構想が震災後11年ぶりに再開された。主体的な取組として、石巻市を中心市として本市と女川町が相互連携し、それぞれの特色や独自性を尊重しながら、役割を担うことになる。昭和60年をピークに減少が続いている人口と急速な少子高齢化対策の強化、また、有事においては協力体制の強靱化や必要な生活機能を確保し、持続可能な市政運営と発展性が期待できる。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 石巻圏域定住自立圏構想は、東日本大震災の発災により中断していたが、人口減少は喫緊の課題であるため、今後スピード感を持って計画を進行することが重要である。今後の議会への提案と進行計画及び進め方について伺う。</p> <p>(2) 本市にとっての財政支援の利点について伺う。</p> <p>(3) 圏域で抱える様々な社会課題に対し、自立した活力ある圏域を形成し連携して対応すべきであることから、本市の役割は非常に重要である。構想策定による本市の役割を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第9位</p> <p>浅野直美</p>	<p>2. 環境整備と災害対策について</p>	<p>市民の生命と生活を守り、また、環境美化の促進を図るため、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 三陸沿岸道路「矢本石巻道路」は平成10年3月に開通し、今日まで24年経過した。本路線の法面には木々が成長し、雨風や積雪の影響を受けると根本から倒伏する危険性を伴う。また、雑草が生い茂り、ごみの投棄が増え、衛生面が懸念されることやカメムシの発生による周辺の田畑の農作物への悪影響も懸念される。これから梅雨を迎え、雑草や害虫が増加する前に早急に対応すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 国営かんがい排水事業で整備された農業用排水路である中江川について、宮城県管理である定川が東日本大震災の復旧工事完了により、中江川排水路と定川の堤防高に約1.6メートルの高低差が生じている。これまでも、市と議会で宮城県に対し要望を行い、嵩上げの必要性を訴えているが、県からの回答は、更なる機能向上は困難な状況であるということであった。中江川の両岸に位置する下小松地区、五味倉地区及び赤井上区地区は、今年5月に県が示した津波浸水想定区域内であることや近年の異常な降雨量や豪雨災害が懸念されるため、同地区住民の不安解消と生命と生活を守るため、更に強く要望すべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>浅野直美</p>	<p>3. 本市の地域力を活かした誰一人取り残さない教育について</p>	<p>東松島市教育基本方針には、地域ぐるみで子どもたちを育てる体制づくりが重点目標として掲げられている。また、「東松島市子どもの笑顔と生きる力を育む基本条例」が今年制定され、基本理念の一つに、市民と相互に連携・協力して、子ども・子育て支援に取り組むことが示されている。</p> <p>地域が学校と連携・協働することは、児童生徒の教育環境の充実に資することのみならず、地域が教育力を高め、持続可能な地域づくりにもつながるものと考えられる。</p> <p>児童生徒の社会を生き抜く力、豊かな人間性を育むためにも、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 本市独自の持続可能な教育スタイルとして、放課後を利用し、学び直しや基礎学力の土台づくり及び児童生徒の居場所づくりを地域ボランティアに協力いただく体制を確立し、児童生徒の学習意欲向上に努めるべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 石巻市では第2期石巻市教育振興基本計画を策定し、5つの施策目標を掲げ、独自の標準学力調査を実施している。本市においても、本市独自の教育活動を実施すべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第10位</p> <p>阿部秀太</p>	<p>1. 森林資源の管理とその活用について問う</p>	<p>森林は、重要な地域資源であるが、近年様々な主体が山林売買に関心を示し、住民とのトラブルが各地で見られる。国は、令和元年度から森林環境譲与税と森林経営管理制度を施行開始し、令和6年度からの森林環境税により、森林の公共性が一層高まることと思慮されることから、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 山林の売買についても農地同様、許可制とすべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 森林環境譲与税の活用状況と今後の方向性はいかに。</p> <p>(3) 里山の休耕田や里山と一体となる土地・建物についても、一体的な地域資源として交流人口創出対策など、活用を図る考えはないか。</p> <p>(4) 自然は子どもの健やかな育ちにとって不可欠であり、森林は最適な空間と思慮する。保育・幼児教育、学校教育の場に活用してはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第10位</p> <p>阿部 秀太</p>	<p>2. スマート農業への取組方針について問う</p>	<p>農業では担い手の減少や高齢化が進むなど、労働力不足が深刻な問題となっている。加えて、1経営体当たりの経営耕地面積も拡大しており、スマート技術は将来農業に不可欠なものと思慮されることから、以下の点について伺う。</p> <p>(1) スマート農業を全体システムとしてとらえるとき、行政の積極的な関与が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(2) 特に、土地利用型農業部門においてGPS基地局の設置が有効とされるが、行政で設置する考えはないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第10位</p> <p>阿部 秀太</p>	<p>3. ブルーインパルス観覧駐車場の整備について</p>	<p>ブルーインパルスの飛行訓練に際して、立沼から浜市までの三線堤や農道に車を止め観覧している様子が常態化し、追突事故や農耕車両との接触事故が心配されている一方で、浜市地区にある観覧駐車場が積極的に利用されていない状態が見受けられることから、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 立沼地区にある自衛隊松島基地所有の土地を、新たに観覧駐車場として整備されるよう働きかけられたい。</p> <p>(2) 案内誘導看板の設置など「おもてなし感」を積極的に演出して、本市のイメージアップにつなげてはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第11位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>1. 市内にあるため池の安全を確認せよ</p>	<p>宮城県は、今年4月に発生した栗原市築館のため池で釣りをしていた小学1年生の男児が死亡した事故を受け、県内にある農業用ため池5, 175か所のうち、集落や通学路に近く、人が容易に立ち入ることができる計1, 543か所を市町村を通じて緊急点検した結果、734か所で安全対策が必要と判明したと公表した。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 事故後の県による緊急点検要請を、市はどのように受け止めたのか。また、点検した件数とその中で安全対策が必要とされたため池はどこか。</p> <p>(2) どのような安全対策を講じようとしているのか。</p> <p>(3) その後、防災重点ため池「牛網堤ため池」の水量調節はなされているのか。</p> <p>(4) 市が管理している「牛網堤ため池」の今後の利活用は。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要 旨
<p>第11位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>2. 制服や学用品のリユース事業を立ち上げよ</p>	<p>家庭で不要になった学校の制服や学用品を必要な人に譲る取組が全国的に広がっている。特に、成長が著しい中学生の制服は、子どもの成長に合わせて何度も買い替える家計の負担を軽くし、資源を大切にすることを目的にもつながり、SDGsの理念にも合致するものである。</p> <p>本市においても積極的な取組が必要と考え、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 本市の小中学校における制服や運動着、学用品のリユースの取組をどのように把握しているのか。</p> <p>(2) 転校時の対応はどのように行われているのか。</p> <p>(3) 児童生徒と保護者の経済的負担を軽減するためにも行政で事業化すべきと思われるがいかがか。</p> <p>(4) 小学校低学年の教材に「算数セット」がある。保護者は、購入費用だけでなくセットの一つ一つに名前を付けなければならない、その労力は大きなものがある。その対策として、自治体が一括購入し、各クラスに貸し出しているところもある。本市でも各小学校に配備してはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第12位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>1. 18歳成人への対応を問う</p>	<p>本年4月1日に改正民法が施行され、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられ、全国では約230万人の18歳、19歳が一斉に成人になった。これにより、これまで制約のあった様々な物事が自分の意志で選択できる一方、大人としての自覚と責任が求められることにもなった。</p> <p>改正前は、親の同意なく行った契約を取り消せる「未成年者取消権」があったが、今回の改正により、18歳、19歳の取消権は適用されなくなり、契約トラブルの増加が懸念されている。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 今回の法改正についてどのような認識であるか。</p> <p>(2) 社会経験や知識不足の新成人の被害防止に向けての消費者教育と啓発はいかに。</p> <p>(3) 成人式は、全国的にほぼ20歳からとなっているが、現行のままでは法の趣旨と合わなくなる。年齢引き下げの見直しの考えは。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要 旨
<p>第12位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>2. STEAM (スチーム) 教育について</p>	<p>先般、教育分野における日本最大の展示会「教育総合展」が東京ビッグサイトで開催され、これからの教育を考える上でポイントとなるテーマが取り上げられており、その中でSTEAM教育を大きく取り上げていた。</p> <p>文部科学省では、文系・理系の枠にとらわれず、各教科での学習を実社会での問題発見・解決に活かしていくための教科横断的な教育としてSTEAM教育を推進することが重要としている。また、先導的な教員養成を担う教員養成フラッグシップ大学でも来年度からSTEAM教育指導の導入を計画しているとのことであった。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) STEAM教育について、どのように認識しているか。</p> <p>(2) 特異な才能を持つ児童生徒の指導・支援にSTEAM教育は有効とされている。教育現場でどのように活用していくのか。</p> <p>(3) 理数教育の現状と課題解決に向けた対策について</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第13位</p> <p>長 谷 川 博</p>	<p>1. ため池の安全対策について</p>	<p>今年4月5日、栗原市でため池に小学1年生の男児が転落して死亡するという痛ましい事故が発生した。新聞によれば、事故前に近隣住民が市に安全対策を求めていたが、柵は朽ちて事故が起きるまで放置されたままだったと報じられた。今回の事故は、幼い児童が犠牲になり、よそごとには思えない。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 市内にあるため池の設置箇所の把握、管理・点検や安全対策はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 小中学校における児童生徒への安全指導は。</p> <p>(3) 事故が発生したため池には遮水シートが張られており、滑りやすく這い上がることが難しかったとも報道された。事故後、栗原市は市内のため池を点検し、現場のため池には転落しても捕まって這い上がれるよう「安全ネット」を取り付けたとも報じられている。本市でも、柵や看板はもとより、栗原市のように、ため池への「安全ネット」の設置も検討する必要があると考えるがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

	件 名	要 旨
<p>第13位</p> <p>長 谷 川 博</p>	<p>2. 国保 子ど もの均等割軽減 について</p>	<p>子どもの均等割軽減について、これまで何度か取り上げてきた。均等割は、年齢や所得に関係なく18歳未満の子どもに対しても一律に定額が賦課されることから、子育て世帯の保険税負担が大きなものとなり、子育て支援に逆行しているとされる。</p> <p>国は、地方の声を受けて、今年4月から未就学児の国保税の均等割を5割軽減する制度を開始した。宮城県内では6市町が18歳までの独自減免を実施している。石巻市が3割、仙台市が5割、亶理町、松島町、大郷町、丸森町が10割の減免となっている。</p> <p>本市でも、均等割2分の1減免を18歳までの子どもを対象を独自に拡大して、国保子育て世帯の負担軽減を図るべきと考えるがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第14位</p> <p>大橋 博之</p>	<p>1. 学力向上について問う</p>	<p>本市の学力向上策について、教育委員会としても鋭意努力されていると思うが、一向に実績が上がらないようである。この際、視点を変え、チャレンジしてみてもどうか。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 学力の向上の一丁目一番地は、国語力のレベルアップではないか。</p> <p>(2) 音読の習慣を徹底的に実践すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(3) 放課後の時間を活用した寺子屋的な補習授業を実施してみてもいかがか。</p> <p>(4) 文部科学省の指導方針と本市の学校教育現場の関係性について問う。</p> <p>(5) 実績を上げている他自治体等の取組を参考にすべきではないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第15位</p> <p>小野 惠章</p>	<p>1. 県公表の新たな津波浸水想定への本市対応は</p>	<p>宮城県は、今年5月10日に太平洋側の巨大地震で最大級の津波が発生した場合の新たな津波浸水想定を発表した。本市における津波浸水面積は、東日本大震災の1.3倍の49.2㎢に及ぶ。市災害対策本部が置かれる矢本庁舎も津波浸水想定区域内であり、様々な見直しの検討が必要と想定され、市民の不安が増した。</p> <p>そこで、以下の所見を問う。</p> <p>(1) 津波避難計画の見直しは、いつを目途に行うのか。</p> <p>(2) 現行の市災害対策本部の設置場所等を定めた本市の地域防災計画の見直しは、急務と思慮するが、その考えはいかに。</p> <p>(3) 松島基地南北滑走路の北側3線堤が未整備のままである。基地との協議の進捗は、どのように進展しているのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

	件 名	要 旨
<p>第15位</p> <p>小野 惠章</p>	<p>2. 飼い犬・飼い猫条例の制定を求める</p>	<p>令和4年6月1日からペットの犬、猫へのマイクロチップ装着が義務化された。日本においては、15歳以下の子どもの数より、飼い犬、飼い猫の数が多いとも聞き及ぶ。心の癒しとしての犬、猫の存在は認めつつも、他方、多頭飼いや猫の放し飼い、飼い猫と地域猫との判別の難しさからくる苦情処理の問題等がある。地域の生活環境の向上とペットの適正な飼養・管理が必要と思慮する。飼い犬・飼い猫条例の制定を求めるについて、所見を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>